

ほんこのころろ

作 本町かずこ
卒業



いつの時代も青春ってあまじょっぱい。

「広報白河広告」申し込み

3月3日(月)から、「広報白河広告」の申し込みを受け付けています。広告の掲載を希望する方は、お気軽にお問い合わせください。

●掲載料 (1回につき)

▷1枠(縦42mm 横178mm) 2万4千円

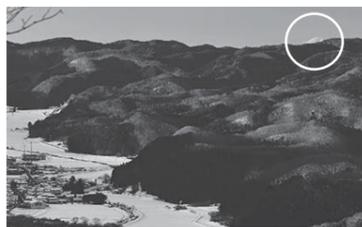
▷半枠(縦42mm 横 86mm) 1万2千円

※公共性を損なう内容は掲載できません。

◎本庁舎秘書広報課 内2373

■関山山頂から富士山を望む!

関山から富士山まで、直線距離にして約234km。12月から2月までの間、天候、空気の澄み具合などの条件がそろえば、山頂から見る事ができます(野田誠さん提供。右上に富士山、左下は旗宿地区)。



輝きの記録

第28回ごみに関するポスター展



◆最優秀賞

角田健太郎さん(白三小6年)

※角田さんは、最優秀賞を2年連続で受賞しました。

善意の窓

貴重な江戸時代の雛人形(享保雛)

1月24日、安田豊さん(天神町)から、大型の享保雛2体(1対)とそのほかの雛人形35体、雛道具一式が寄贈されました。

これらは3月9日(日)まで、歴史民俗資料館の「江戸時代の雛人形」で展示しています。



ちょっといいなし

文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞



2月10日、白一小的清野孝教諭が、文部科学大臣優秀教職員表彰の受賞報告に訪れました。

同校の教育実践研究の中心として、成果を上げ、普及に努めたことが評価されたものです。

地域は自分たちの手で! ボランティアでゴミ拾い

「だるま市」の会場として多くの人でにぎわった本町・中町・天神町。

翌日の2月12日には、各町内会が、ゴミ拾いのボランティア活動を行いました(写真は本町町内会の皆さん)。



事業紹介 匠の技チャレンジショップ事業

起業家の支援とまちなか出店を目的とする「匠の技チャレンジショップ事業」を活用し、中心市街地(中町)で営業している2店舗を紹介します。



①茶房 齋(飲食店)

- 営業時間 正午~午後11時
- 定休日 日曜日
- 連絡先 ☎09172
- ホームページ <http://sabori.jimdo.com/>

読書にオサボリに利用できるカフェバー



サクッと香ばしいそば粉のガレット。ロールケーキはHappy Berry(矢吹町)から取り寄せています。
▷ガレット(600円から)
▷コーヒー(400円から)
▷ロールケーキ(320円から)

店長から

おすすめは、「ガレット」と「白ビール(ドイツ産)」です。白ビールはビールが苦手な方からも好評を得ています。県内で取り扱うお店も少ないので、ぜひ一度ご賞味ください。また、店内には1,000冊を超える蔵書や手造りの木造家具があり、ゆっくりとくつろいでいただけます。



店長 鈴木則光さん「長居大歓迎です」



②Loco(飲食店)

- 営業時間 午後6時~午前0時
- 定休日 水曜日
- 連絡先 ☎080-5734-9258

カクテルなどが楽しめるハワイアンバー



ボトルが特徴的なハワイのコナビールのほか、世界3大ハムの一つ「ハモンセラノ」を楽しむことができます。
▷カクテル各種(600円から)

店長から

甘いリキュール系のお酒をメインに、女性の方でも飲みやすいカクテルやハワイビールを提供しています。店内に流れるハワイアンミュージックを聴きながら、ハワイにいるような雰囲気を楽しんでください。また、旬の果物を使用したパンケーキもおすすめです。



店長 大野祐太郎さん「チャージ料無料です」

■Pickup 白河だるま市成功ストーリー

伝統行事を守るボランティアの大きな力!!

2月9日、東日本全体を大雪が見舞い、各地で記録的な積雪が報じられました。本市の積雪は50cm。それは「白河だるま市」の2日前のことでした。

翌日の朝、会場となる本町・中町・天神町の道路は圧雪状態、沿道にはたくさんの雪が積み上げられていました。今年のだるま市はどうなってしまうだろう。関係者の脳裏に不安がよぎりました。

迎えた当日。「荒れた天気」になることが多いだるま市ですが、今年は快晴に恵まれ、さらに会場内の雪はきれいに無くなっていました。まるで何事もなかったかのように、例年同様多くの来場者が訪れ、大盛況のうちに終わりました。

今年のだるま市開催の背景には、多くのボランティアの皆さんの努力がありました。前日(10日)、白河建設親和会(永野文雄会長)は会場の除雪作業を行うため、重機16台とダンプトラック20台、そして101人の作業員を投入。機械と人力によるプロフ



エッショナルな作業で着々と雪を片付け、夕方には見事に会場内の雪を一掃していました。除雪にあたった永野会長は、「来場する多くの方にだるま市を楽しんでもらいたい一心で、会員一同が市などと連携して懸命に作業にあたりました。無事に作業が終了し安心しました」と話しました。
本市の伝統行事は、こうしたボランティアの皆さんの力によって守られています。